

杉原孝治 先生

Sugihara Takaharu

神奈川県立厚木高校

生き物の
かわいらしさを知って
笑顔の多い日々を

46 億年、懸命に努力し、生きてきた、そうした意味での生き物のかわいらしさを伝えたい―それが私の授業、づくりの原点です。授業では、『パンダは、お肉を食べたいと思わないのかなあ』『人類はマダガスカル島に、どのようにして到達したのか』といった大きな問いを出します。生徒は、その解明のヒントとなる小さな問いに、教科書や資料集などを使って取り組み、生徒同士で考えを出し合いながら、大きな問いを解いていきます。今年度は、『ペンギンの骨格と歩き方の秘密』という問いを出し、その解明の

ヒントとして、ペンギンが歩く仕かけの模型キットを20組用意しました。国立極地研究所で見た教材を参考に作成したそのキットを、生徒が組み立てて動かすと、「こつこつと歩くんだ!」「かわいい!」といった声が、あちこちから上がりました。ペンギンが一見短い足でどのように歩くのかを、模型の動きを通じて自分の目で確かめたことで、寒い地域に適応したかわいらしさが伝わればうれしいです。

生徒は問いを解く過程で、自分の考えや理解したことに加えて、他者の意見を聞き、共感や違和感を抱いたことも伝え合います。そこで磨かれた、読む、書く、描く、話す、聞く、作る、考える、気づく力によって、探究力や表現力を伸ばしていつてくれたらと思います。自分で見つけ、自分の言葉で理解したことは、ずっと心に残り、表現することができます。これからも生徒が楽しく笑って過ごせるように、生き物のかわいらしさがたくさん感じられる授業を追究したいです。



生徒より

アリの生態を人間関係に例えたり、血液凝固を排水管に置き換えたりと、杉原先生の解説はユニークで、学んだことを誰かに伝えたくくなります。課題も心と記憶に残るものばかりで、1年生の時に二酸化炭素と森林伐採の関係について調べたことは、3年生の今もすらすら説明できます。疑問点はすぐに調べる習慣もつきました。生き物の魅力を全力で伝えてくれる先生の姿に、好きに勝るものはないことを実感します。大学でも、社会に出てからも、自分の興味・関心は大切にしたいと思っています。

すぎはら・たかはる 教職歴16年。同校に赴任して9年目。総括教諭、グローバル教育推進グループ、理科・SSH(生物・課題探究担当)、2学年副担任。
神奈川県立厚木高校 全日制/普通科/共学/1学年約360人/2022年度入試合格実績(現役のみ) 国公立大は、北海道大、東北大、東京工業大、東京大、横浜国立大などに128人が合格。私立大は、慶應義塾大、上智大、早稲田大などに延べ1196人が合格。

お客様サービスセンター

フリーダイヤル 0120-350455 [受付時間] 月~金8:00~18:00/土8:00~17:00(祝日、年末・年始を除く)

株式会社ベネッセコーポレーション岡山本社 〒700-8686 岡山市北区南方3-7-17